



発行所

新潟市江南区北山1037番地

新潟明訓高等学校同窓会

会長 渡辺 惇 夫

綱 領

- 一 母校愛精神の昂揚
- 二 伝統保持と敬愛
- 三 会員の連繋と相互扶助

ご挨拶

— 同窓会員の絆を深め 組織の拡充強化を —



同窓会長

渡 辺 惇 夫

夏の記録的な猛暑も過ぎ、日増しに秋の深まりを感じる頃となりました。

同窓会員の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

常日頃は当同窓会の諸活動並びに母校の発展向上のために暖かいご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

お陰様で我が同窓会も多数の会員を擁し、年々活動実績を積み上げ、その存在感を増しつつあり、母校の発展とともに内外に高い評価をいただいで

おりますことは我々の大きな喜びであり、誇りでもあります。

このことは偏に会員皆様の変わらぬ母校愛と、日頃のご協力の賜物であると共に、加えて学校ご当局の弛まぬご努力と関係者の皆様のご支援とご協力があつてのことであり、ここに改めて深く感謝の意を表する次第であります。

今後も我々は先輩各位の築いた輝かしい実績と母校の建学の精神を大切に継承しながら母校の卒業生としての誇りを持

ち、同窓会と母校の発展のため努力していかねばなりません。

さて、ご承知のように我が母校は大正10年の創立以来、実に90有余年の歴史を有し、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねて参りました。そして、今後の新しい時代に対応し、更なる発展を期すために創設された新潟明訓中学校も、6年目を迎え、中高一貫教育も着実に実績をあげており、中学第一期生が現在では高校3年生となつており、今や大学受験に向けて鋭意準備中であり、来年の春には明訓高校を卒業する予定となっております。

又、最近の母校の在校生の皆さんの文武両道に秀でた活躍は、我々同窓生に対し新鮮な感動と勇気と自信、そして誇りを与えてくれており、感謝

しております。特に部活動に於きましては、運動部、文化部とも全国レベルで大活躍をしており、中でも野球部の活躍は目覚ましいものがあります。去る8月に行われた全国高等学校野球選手権大会に於いては、通算8度目の甲子園出場を果たし、初戦から大舞台に臆する



理事長

伴 昭 彦

人生は短いか

同窓会員の皆様には御元氣でお過ごしのことと心からお喜び申し上げます。今の私達の日常は毎日が多事多端でどうやって生きてゆけばいいのやら迷う毎日です。歳をとると毎日が早く過ぎてゆ

ことなく伸び伸びとした堂々たるプレーを展開し、強豪を打ち破り三回戦進出を果たしました。三回戦では名門、明徳義塾高校との対戦となり、残念ながら惜敗はしましたが、その戦いぶりは賞賛に値するものでありました。

この度の野球部の大活躍は、我々同窓生にも大きな勇気と自信と感動を与えてくれました。

今、我が同窓会としても、この母校の大活躍に相應しい体質と拡充強化を求められており、それにむけて努力してお

ります。

幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しております。この多くの皆様から母校の現状を知っていただくとともに、大きな関心を持つていただき、互いに同志的意識を更に高め、協力体制を確立することにより同窓会の活性化と発展に繋げていかななくてはなりません。

先般も、役員会や常任委員会等に於いて、今後の同窓会のあり方や発展の方向性を探り、協議を重ねていくところであります。今後共ご指導とご協力を心からお願ひ申し上げます。

最後に母校のますますの発展と、同窓会の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

さについて」(岩波文庫)という本を書かれました。多くの人が、人生は短い、一生も瞬くうちに過ぎてしまふ、と思っておられるようですが、セ

ネカの言い分は逆です。

セネカは、「人生は十分に長い、その全体が有効に費やされるならば、最も偉大なことをも完成できるほど豊富に与えられている」と言うのです。つまり人生はその使い方を知れば長いということでしょう。何故かということ、人は普通あまり死を考えていません。五十才や六十才でも現在の自分の仕事を中心に考え、死ぬということとは単に抽象的に、あり得る、と考えるだけでありそれは遠い将来のことと考えておられると思います。

山口瞳さんは色紙に好んで「今日無事」と書かれたそうです。ただ毎日を忙しく暮らしていると明日や明後日のことでなく今日一日を考える余裕もなくなってしまうます。ということは、次第に自分の人生の残り時間が少なくなっていることを全く考えていないのです。毎日を過ごしている中での「今日無事」ということに思いが至らないことが多いのでしょうか。今を生きている、ということとは、生きていることを

有難いこととして大切に

しようという心になります。二度とない人生、ただ一度きりの人生と思えば毎日の出会う人々だけでなく生きとし生ける者に対し、更に事象に対してもいとおしいと感じることができると思えます。哲学者の森信三さんは、「人生二度なし」という言葉の真理が常に心から離れなくなつたのは三十五才からだと言われ、それ以来、御自分のもっておられる能力をぎりぎりまで発揮し、悔いのない人生を歩まれるようになったと述懐されております。

作家の安岡章太郎さんは脊椎カリエスで寝ているしか仕方がなく生きる目当てでもないような頃、物を書き出されました。雑誌にのせるとか文学賞をとるとかの目的もなくただそれまで生きて来たことの確認をしたい、という気持ちであつたということでした。その時に、俺は生きているんだという実感をもったといわれます。生きていれば年令がどうであれ何かしらの満足感というものがある

筈だとも言われます。

今は仕事が忙しい、定年後時間に余裕ができたから人生をゆつくり考えようという方もおられるでしょうが、いつまで生きられるのか保証はないのです。「今日が最後の日

ご挨拶



学

校 長

大 滝 祐 幸

となるかもしれない」と考え、生きること、それ以上に死ぬことは生涯かけてまなぶべきことかと思えます。皆様の御活躍をお祈り申し上げます。

本年度、学校長として赴任させていただきました。創立以来九十二年目を迎えた新潟明訓の学校長として、やるべきことを着実に実行し、同窓の皆様の本校に寄せる期待に応えたいと決意しております。

さて、四月以来多くの方に、明訓はいかがですかと聞かれています。私は、いつも四つのすばらしい点がありますとお答えしています。

一つ目は生徒です。生徒の心が開かれている学校です。私は毎朝、玄関で生徒におはようと声をかけをしています。ほとん

すと答えています。

このようなすばらしい環境の中で、生徒達に結果を出させることができないとしたら、それはリーダーである私の責任です。一つでも不足な点があれば、それを原因だと嘯いていることができず、逃げ場がありません。これから私にできることを一つ一つ心を込めて一生懸命にやっていきたいと思っています。

ここで私が、保護者の皆さんにお願いしていることを一部ですが、紹介させていただきます。

まず、保護者の皆様には次の様にお願ひいたします。

「生徒たちを大きく育てるために、教職員と一緒に歩んでいただきたい。互いに信頼しあつて生徒に向かつていけば生徒は安心します。高校時代の生徒はいつも不安をもつて生活しています。それがこの時代の特徴です。大人として、生徒に對して、あるべき姿を示しましょう。生徒が乗り越えるべき壁になります。同窓の皆様は熱い思いで

生徒をだめにしようとする教職員は一人もいません。そして、三年後の一人一人の生徒の希望を叶えさせていきたいと思っています。」

そして入学式では生徒達に次の用に話しました。

「先生方はあなた方の夢を実現させるため、真剣にあなた方と対峙することを約束します。

しかし、あなた方の夢の実現は、あなた方の努力によつてのみ完成されます。皆さんが互いに緊張感を持ち、凛とした雰囲気を保ち続けなければ、成果は小さなものとなります。そのために努力するという決意と、その決意をもつてこれからの三年間を過ごす覚悟を求めます。そして、この新潟に明訓ありという姿を見せようではありませんか。」

以上、私の思いを書かせていただきました。私自身の学校運営の決意の一端をお汲みいただき、これからの皆様方のご指導ご鞭撻をお願いして、挨拶とさせていただきます。

平成24年関西新潟明訓会 総会・懇親会を開催

関西新潟明訓会平成24年総会が10月6日(土)午後12時30分より大阪市都島区網島町の「太閤園」で開催されました。

同窓会本部からは大倉副会長、首都圏からは秋葉会長が出席。学校からは伴昭彦理事長がご出席され、総勢22名での開催となりました。

総会は本間会長のご挨拶ではじまり、来賓祝辞として大倉副会長、秋葉首都圏会長、そして伴昭彦理事長からは、今回ご



懇親会風景



第二応援歌の披露

欠席となった大滝校長のメッセージとともに躍進する母校の近況についてお話をいただきました。その後、議事に入り、井嶋幹事から会務報告、会計報告が行われ、平成24年度の予算(案)と共に承認されました。

総会終了後の懇親会では、本部持参の「越乃寒梅」も振舞われ、皆さん時の経つのも忘れ楽しいひと時を過ごしました。終わりに、秋葉首都圏会長と刈屋幹事による懐かしい第二応援歌が披露され、名残惜しみつつ閉会となりました。その後、有志十数名で場所を変え更なる親交を深めました。

第24回首都圏新潟明訓会総会・ 懇親パーティー開催

第24回首都圏新潟明訓会総会・懇親会が、平成23年11月12日(土)千代田区の総理官邸隣、霞ヶ関ビル35階東海大学校友会館で開催されました。

新潟から持参した、母校の様子をまとめたDVDが放映される中、一年ぶりの再会にすでに会場では会話が華が咲いていました。

開会に先立ち、この3月に起こった震災で亡くなられた大勢の方々、前年の総会以降に亡くなられた同窓の方々に対して黙祷し、冥福を祈りました。

その後、小林史郎・奥田まゆ子副会長(ともにS46年卒)両氏の司会に



秋葉会長挨拶

より懇親会が始まり、秋葉正樹首都圏新潟明訓会会長(S46年卒)の挨拶に続き、来賓の伴昭彦



伴理事長挨拶

理事長、所要で残念ながら欠席の母校校長と渡辺惇夫同窓会会長の代理として渡邊淳一副会長、関西新潟明訓会本間則男会長より祝辞。

後藤 強監査役(S29年卒)の音頭で乾杯し、歓談へと進行されました。

本部から持参の「越乃寒梅」も振る舞われ歓談途中には、恒例のジャズタイムで熊倉由美さん(S56年卒)のおしゃべりと熱唱に酔いしれました。

その後、幹事の景品提



熊倉由美さんによるジャズタイム

供による福引きが行われ、三度目の全国高等学校駅伝競走大会に新潟県代表としての出場を決めた陸上部女子チームへのチャリティをして大いに盛り上がり、健闘を願った多額の支援を、いただくことができました。

後半には、今回初参加の方々六名の紹介。懐かしい「応援歌」を歌ったり、「卒業後60年目の『還暦?』」を迎えたS26年卒の藤間健彦・暉一恵顧問から「ひとこと」があり、中西敬介さん(S46年卒)の音頭で校歌斉唱。

村上哲昭副会長(S46年卒)の中へ。皆川治副会長(S43年卒)の閉会の挨拶で総勢60数名参加の懇親会がお開きとなりました。

(林 記)

新潟明訓高等学校

昭和四十八年度卒業生

第一回 同期会開催

新潟明訓高等学校卒業以来39年ぶりの再会を祝う昭和48年の同期会を7月14日(土) ホテルイタリア軒に於いて開催いたしましたので報告さ

せていただきます。何十年振りかで再会しても三年間、明訓で過ごした仲間たちは39年前にタイムスリップしたように一度、顔をあわせると



2012.7.15 ホテルイタリア軒 サンマルコ

最初は、「だれらったろ」とちよつと思ひ出しそいでいて思ひ出せない。しかし、すぐに当時の記憶を思い出し、するとたちまち「オ、ひさしぶり。何年振りらう?」「おめえとは一年の時、一緒の組らったねっかってー!」「おめえ、何組らった?」「おれ、何組らったろ?」「元氣らった?」。となつて、肩を叩いたり何十年すぎても、「おい、おめえ、おれ」で、昔に返つて話し合い、そしていつのまにか当時の顔にもどつて会話が弾んでいきました。同期会は、若さを取り戻してくれる場所なのではないでしょうか。

実は今回の同期会を開催するきっかけは私が母から渡された一枚の新潟日報に掲載されていた同窓会案内の切抜きからでした。今まで同窓会の存在すら解らなかつた私は、始めて同窓会に参加し多くの同窓生と楽しい時間を過ごすことができ、その後も同窓会に参加するたびに懐かしさを覚え楽しみになるようになりました。

その同窓会がきっかけ

となり同期との交流を深めていく中、皆から「48年卒の同期会をやりたいね」との声があり宮川美代子さん、伊藤 清君、山田 仁君たちの奮闘のおかげで男子30名、女子12名、総勢42名にご出席頂き開催することが出来ました。あらためて感謝を申し上げます。

宴も盛り上がった頃、各クラスごとに壇上に上がり一人ひとりの近況を報告いただきました。一

次会は話が尽きないまま中締めとし二次会場のスナックへ。大多数が二次会に参加していただいたためバブル最盛期を彷彿するようなギョウギョウ詰の店内で飲めや歌えやの盛り上がりで再来年の大多数が還暦を迎えることを忘れさせるパワー漲る宴でした。みんな有難うございました。来年もまた、お会いしましょう。皆にとって同期会とはマラソンで例えるならエ

イドステーションのような気がします。人生というマラソンのゴールを目指しその節目、節目で水分や栄養を補給しエネルギーを与えてくれる場ではないでしょうか。

同期会は、エイドステーションなんです。ゴールに向かって皆さんも大いに同期会だけでなく同窓会、同級会に参加しエネルギーを頂き若さを取り戻しましょう。

(若井記)

明訓高校より報告
第一回「アメリカ研修」の実施

平成25年3月に第一回「アメリカ研修」を実施します。高校第一学年の生徒の希望者対象の企画です。学年末考査終了後に、約10日間、アメリカ合衆国のボストン地区とニューヨーク地区に滞在し、ハーバード大学やMIT、国連本部等を訪れ、世界の「中心」で学ぶ大学生たちや、現地で活躍する日本人とも交流します。

世界的な視野で物事を

捉えることで、将来の進路選択の幅を広げ、学ぶ意欲を高め、そして将来のリーダーを目指すことを目的とした企画です。よく行われている「海外修学旅行」とは、目的・内容とも異なる企画です。

20名程度という募集枠に37名が申し込み、校内で選考検査を実施しま

した。少人数にする理由は、現地で交流する学生や研究員の説明等を間近で聞き、質問や会話が可能になるようにするためです。



この企画は、成果を上げていく先進校をモデルにして取り入れたもので

すが、私学としてはもちろん県内で初めてのものとなります。明訓でも成功させて、実際に参加した生徒たち自身が明訓のリーダーとして成長するとともに、体験したことや、体験から学んだことを周りの生徒たちと共有することで、当該学年全体を、そして、全校を感化するような企画に育てて行きたいと思っています。



六月 明訓祭でのステージ発表
毎年「明訓のつどい」のラストを飾ります。演奏を聴いてもらう機会の少ない明訓の友人や家族、先生方に発表することのできるとてもいい機会です。

七月 高校野球新潟県大会開会式演奏・準々決勝からの野球部の応援演奏

夏といえば高校野球。私たちは四年前から開会式の式典演奏を担当しています。百校近い出場校の入場行進は約四十分間

かり、その間行進曲を吹き続けます。これから甲子園を目指す高校球児のために、心をこめて演奏します。

準々決勝からは明訓野球部の応援です。今年度は甲子園でも二回応援することができました。



甲子園での応援演奏



吹奏楽部全員集合

八月 吹奏楽コンクール

年に一度のコンクール。私たちにとってはとても大切な行事です。このコンクールに向けて何ヶ月も練習を重ねます。今年度は吹奏楽曲の作曲家として大変有名な八木澤教司先生にも直接指導いただき、とてもいい思い出になりました。結果は銀賞でしたが、全員が心をひとつに熱い演奏をすることができました。

十一月 アンサンブルコンテスト

三年生が引退し、一、二年生だけの部員からアンサンブルコンテストに出場するメンバーを選びます。今年度はサキソフオーンと打楽器のチーム、木管・金管・弦楽器と打楽器のチームの二チームが西関東アンサンブルコンテストを目指します。

三月 定期演奏会

一年間の活動のしめくくりは定期演奏会です。毎年お客さんに楽しんでもらえるようなステージづくりを目指しています。昨年は亀田中学校、横越中学校との合同演奏なども取り入れ、地域とのつながりも大切になっています。

吹奏楽部の目標は「心をひとつにして本物の音楽を目指す」ことです。一人で楽器を演奏することとでさえ難しいのですから、大勢で一つの曲を演奏するのはさらに難しいことです。みんなが思いを一つにしたとき、初めて音楽がいきいきとしたものになります。私たちはそんな生きた音楽を演奏したいと思っています。



玄関ロビー

生徒玄関ロビーに、同窓会よりイスとテーブルを寄贈していただきました。図書館とは異なり、飲食をしながら勉強が出来るので、生徒からとても好評です。

「同窓会より寄贈がありました」

近年、吹奏楽部OB会が発足し、物心両面でサポートしていただいています。とても頼もしい先輩たちに支えられ、嬉しく思います。また、この度、同窓会総会で演奏させていただきました。まだまだ未熟な演奏しかできませんが、楽しんでいただきたいと思います。

トピックス

◎ 吹奏楽部

吹奏楽部は現在一年生十八名、二年生十六名の合計三十四名で活動しています。私たちの活動は自分たちが主役になるものではなく、演奏でお手伝いをさせていただくものも多くあり、その点では他の部活動とは違う個性的な活動をしています。年間行事の主なものを紹介させていただきます。

四月 新潟明訓中学校入学式での演奏

入学式後の新入生への歓迎演奏をしています。まだ小学校を卒業したばかり、しかも入学式直後ということ、新入生のみなさんはとても緊張した面持ちで演奏を聴いてくれています。これらの明訓での生活に希望が持てるように、精一杯演奏しています。

学 校 高 案 内

過去4年間の合格者推移

国公立大学	2009		2010		2011		2012	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
北海道	3				2	1	6	
北 北			1	1	3	1	2	
山 形	7	3	2	3	7		7	1
福 島	2		2		4		2	
筑 波	4		1		4		3	
埼 玉			1		2		2	
千 葉	2		2		1			
お茶の水	1		1	1				
電気通信	1				1			
東 京		1						
東京学芸	2				1		3	
東京農工			1	1	1	1		
東京工業						1		
一 橋			2					
横浜国立	1		3				1	
新 潟	56	6	58	9	36	12	67	6
長岡技術科学	1		1		3		2	
上越教育	6			1	3	1	2	
富 山	3	1	1		2		3	1
金 沢	3		3	1	1		2	2
信 州	4				2		3	
京 都				1		1		
高崎経済	1		1	1	10		5	3
埼玉県立	1		1		2			
首都大東京	3	2	2			1	2	1
新潟県立	15	4	15	4	15	2	21	4
新潟県立看護	3		6		4		5	
都留文科			1		1			
そ の 他	22	3	11	1	16	4	17	4
小 計	141	20	114	26	121	25	155	22
国公立合計	161		140		146		177	

私立大学	2009		2010		2011		2012	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
早 稲 田	10	5	4	2	8	6	1	3
慶 応	1	2			4	3		
明 治	19	5	13	4	13	3	8	1
立 教	11	9	10	6	15	7	7	2
青山学院	6	5	1	1	9	4	7	
中 央	15	4	20	4	17	2	18	2
法 政	13	11	12	4	10	5	9	3
上 智				1		1		
学 習 院	2		1		2	3	1	
東京理科	5	2	5		3	3	4	4
東京農業	5	1	3	2	5	2	1	2
津 田 塾	1		2	1				
北 里	4	1	5	2	4	1	4	2
芝浦工業	6		7	3	3	1	3	3
成 蹊	6	2	2	1	4	4	2	
成 城	4	3	4	1	2	1		2
日 本	37	11	28	15	28	4	45	2
東 洋	9	10	10	5	18	5	14	5
駒 沢	8	3	12	3	10	7	20	4
専 修	10	3	20	1	11	3	16	4
明治学院	15	4	8	2	7	3	6	2
獨 協					6	2		
神 奈 川	19	4	18	1	9	4	18	3
新潟薬科	36	1	21		28		27	
同志社	2	1	4		5	1	2	3
立 命 館	5		3		5	2	4	5
関 西	3		2		4		1	
関西学院	3		2		1			
そ の 他	228	35	240	41	205	40	289	33
小 計	483	122	457	100	436	117	507	85
私立合計	605		557		553		592	

進学指導部 国公立現役155名達成

最近の入試状況と 本校の概況

全国の入試状況
昨年度のセンター試験は2年連続で平均点がアップしました。7科目受験者(900点満点)の平均点は一昨年と比べて文系で17点、理系で27点アップし、2年ぶりに理系が文系の平均点を上回りました。

次試験出願数が49.5万人と一昨年は0.9万人減となりました。志願倍率4.9倍となり不況の影響で、「安全・地元・資格」傾向が強まり、昨年よりも文低理高が鮮明になりました。

向と地元志向が強まり、私立大の併願公を減らす傾向が強まりました。その影響もあり、私立大学全体で合格率がダウンしました。

本校の入試状況

卒業生数467に対して国公立大学合格者155であり、国公立大合格率は33.2%となり、過去最高の合格率になりました。

全国の2次試験出願数は49.5万人で志願倍率は4.9倍、合格率20%であったのに対し、本校の2次出願数は227、国公立大学合格者は134で合格率は59.0%であり、推薦合格者21を加えると248出願のうち155合格となり、合格率が62.5%となりました。この結果は、学習に対する努力はもろろんのこと、センター試験の平均点アップに惑わされることなく、生徒個々の結果を現実的に捉え、合格の確率が高い大学を堅実に受験した結果であると思われます。また、難関国立大

学合格者も、北海道6、東北2、筑波3と健闘しました。

私立大学入試では、全国状況と同様で、センター試験の易化と不況の深刻化で、国公立大志向が強まり、私立大の併願校をより安全な大学にする傾向が見られました。その結果、現役の難関私立大学合格者は、早稲田1、明治8、青山学院7、立教7、中央18、法政9、学習院1、東京理科4、同志社2、立命館4、関西1など微減しましたが、私立大合格率は507と一昨年比71増と増加しており、健闘しています。

この結果は、2次私大対策講習の頑張り、最後まで諦めない粘りの姿勢を保てたことによるところが大きいと考えられます。現在現役生は最初の関門であるセンター試験を目指し頑張っています。同窓生の皆様も暖かい目で見守って頂きたいと思っています。

体育祭

今年の総合優勝は「緑連合」！
晴天のもと、青春の力が躍動！



元気に開会宣言

今年の体育祭は、悪天候のため一日順延となりました。そのため、体育祭当日は、絶好の体育祭日和となり、各連合とも連合長を中心に競技・応援に熱戦が繰り広げられました。今年は、新種目として「障害物レース（高校男子のみ）」と「玉入れ」が加わり、さらに盛り上がりを見せまし

た。その結果、総合優勝および競技優勝を「緑連合」が飾りました。また、応援部門および連合ユニフォーム部門では「黒連合」が、連合旗部門で



連合対抗リレー



大縄飛び

は「青連合」がそれぞれ優勝を果たしました。中学生においても、高校生に負けず劣らず白熱した戦いが繰り広げられました。その結果、「赤連合」が見事総合優勝を飾りました。閉会式で夕日に照らされた生徒の輝いた表情が、体育祭の成功を物語っていました。最後に、各連合毎に連合長より



明訓大賞 2年6組「吾輩達の夢、名前はまだ無い」



教室展示部門賞 1年9組
「ダンボール Car collection 1-9」

去る六月九日に行われた明訓祭は、今年も多くの方が来場し大いに盛り

上がりました。前日の前夜祭では、本校卒業生でオペラ歌手と

本祭では、教室展示部門、教室演劇部門、映画部門、ステージ部門、屋

平成二四年度 「百花斉放」な明訓祭

平成24年6月9日開催

して活躍している宮澤さんのミニライブが行われ、生徒たちは迫力のある歌声に大変驚いていました。



大玉送り競争

解散式が行われ、無事体育祭を終了することができました。当日は暑い中、保護者の皆様からも多数

観戦に来てくださり、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。



「緑連合」総合優勝

外アート部門に各クラス創意工夫を凝らした作品が展示・発表されました。今年は、昨年より更にいろいろな所に工夫をしているクラスが多かったことは、来年以降の明訓祭に受け継がれ、良い伝統として続いていくものと期待しています。

☆明訓大賞

二年六組
「吾輩達の夢、名前はまだ無い」。
◎教室展示部門賞
一年九組

◎教室演劇部門賞

三年八組

◎ステージ部門賞

三年三組

◎映画部門賞

三年十組

◎屋外アート部門賞

三年四組

◎奨励賞

三年二組

三年六組

◎パネル最優秀賞

二年二組

◎中学校最優秀賞

二年生「英語劇」



中庭に飾られた全クラスのPRボード

思い出に残る 修学旅行

8月22日(水)から25日(土)の3泊4日で、修学旅行が実施されました。

かなり気温の高い状態でありましたが、大きな体調不良者が出ることもなく、全員が無事にすべての研修をこなして新潟まで帰ってくる事が出来たことがなにより素晴らしいことでありました。今回は、東京と京都で



京都での和菓子の試食会？

2日目は京都に移動し、各クラスごとに奈良公園や姫路城、建仁寺での座禅といった中から一つ選んで日本の歴史に触れることが出来ました。とくに姫路城は現在改装中でありますが、改装の様様を見ることができました。機械に頼らない、匠の技で出来る建

研修を行いました。初日は国会議事堂や東京大学など8つのコースからクラスの垣根を払って、各個人での希望のコースを選び研修を行いました。東京という日本の中心の都市で、日本の各分野の中核となる部分に触れることができ、生徒にとっても大きな刺激のある研修であったと思います。



建仁寺での座禅

造物を目の当たりにし、またそこから姫路の街を一望することが出来ました。

3日目は京都市内のグループ研修でした。今回はタクシー研修を行いました。事前に決めた各コースをタクシーの運転手さんが連れて行ってくれ、またガイドもしてくださるものでした。暑い京都でしたので、タクシ

めになるものでした。最終日は、各クラスごとに八つ橋作りや和菓子作り、京扇子作りといった中から一つ選んで体験を行いました。食べ物という身近なものの手作りであり、生徒は大変興味を持って取り組んでいたかと思えます。

生徒にとっては、現在の日本の最先端と、日本の文化の両方に触れることができ、大変意義のある修学旅行でありました。

部活動報告

— 各部門目覚ましい活躍 —

【運動部】

◎剣道部

《平成24年度春季新潟地区剣道大会

5月11日～12日

東総合スポーツセンター》

・団体 男子 ベスト8

・女子 第4位

・男子 個人

熊倉 茂喜 ベスト16

中沢 祥太 ベスト16

◎陸上競技部

《第5回新潟市陸上競技選手権大会

4月29日～4月30日

新潟市陸上競技場》

男子

・砲丸投げ

第1位 平尾 大也

第2位 池田 夏史

第3位 今井 健介

・400M

第2位 田村 亮

第3位 渡辺 晃

・4×400M

第3位

笠巻・藤嶋・袖山・石塚

女子

・200M

第1位 出塚 千恵

・3000M

第1位 内山 千夏

第2位 原澤 萌加

《春季新潟・下越地区陸上競技大会

5月6日～8日

新潟市陸上競技場》

予選リーグ敗退

男子

・400M

第1位 渡辺 晃

・110MH

《玉竜旗高校剣道大会

7月22日～30日

マリメッセ福岡》

他、計32入賞。

36名 県大会出場権獲得

《新潟県高校総合体育大会陸上競技大会

5月24日～27日

東北電力ビッグスワン》

男子

・400M

第1位 渡辺 晃

・110MH

第1位 藤嶋 郁磨

第3位 石塚 健皓

・砲丸投げ

第1位 平尾 大也

第2位 池田 夏史

第3位 今井 健介

・4×400M

第1位

三澤・渡辺・藤嶋・田村

第4位

林・藤嶋・袖山・石塚

・八種競技

第1位 鈴木健太郎

第4位 袖山 宗吾

第5位 田村 亮

・円盤投げ

第4位 今井 健介

100M

第6位 袖山 宗吾

・400MH

第6位 藤嶋 郁磨

女子

・1500M

第1位 内山 千夏

・3000M

第1位 内山 千夏

第3位 原澤 萌加

第6位 加藤 智子

・4×100MR

第2位

浅香・馬場・出塚・高橋

・4×400MR

第2位

高橋・馬場・浅香・出塚

・100M

第3位 浅香万由子

・200M

第4位 浅香万由子

第5位 出塚 千恵

・400M

第4位 馬場 渚子

第5位 出塚 千恵

・5000MW

第7位 青柳 七奈

《北信越総合体育大会陸上競技大会

6月15日～17日

石川県西部緑地公園陸上競技場》

男子

・400M

第1位 渡辺 晃

・砲丸投げ

第1位 平尾 大也

第3位 池田 夏史

・4×400MR

第2位

三澤・渡辺・藤嶋・田村

・八種競技

第4位 鈴木健太郎

・4×100MR

第5位

林・田村・袖山・石塚

・110MH

第5位 藤嶋 郁磨

・200M

第7位 袖山 宗吾

・円盤投げ

第7位 今井 健介

・4×100MR

第6位

浅香・馬場・出塚・高橋

・4×400MR

第6位

高橋・馬場・浅香・出塚

・200M

第7位 浅香万由子

◎野球部

《第126回北信越高等学校野球

新潟県大会 5月1日～13日

鳥屋野球場・ハードオフ

エコスタジアム》

2回戦 対 新潟東

20―1 (5回コールド)

3回戦 対 巻

13―0 (5回コールド)

4回戦 対 長岡向陵

13―6 (7回コールド)

準々決勝 対 新発田南

9―0 (7回コールド)

準決勝 対 新発田中央

9―0 (7回コールド)

決勝 対 日本文理

1―7

第2位

北信越大会出場権獲得

《北信越高等学校野球大会

5月31日～6月5日

福井県営球場

敦賀市総合運動公園野球場》

1回戦 対 地球環境高校

(長野)

3―5

《全国高等学校野球選手権

新潟県大会 7月11日～25日

ハードオフエコスタジアム他

2回戦 対 新潟高校

5-4

3回戦 対 吉田高校

4-0

準々決勝 対 村上高校

11-1

準決勝 対 十日町高校

9-0

決勝 対 中越高校

5-2

優勝

《全国高等学校野球選手権

阪神甲子園球場

1回戦 シード

2回戦 対 県立岐阜商業

高校

(岐阜県代表)

6-1

3回戦 対 明徳義塾高校

(高知県代表)

0-4

◎サッカー部

《春季地区サッカー大会

5月10日～12日 明訓高校・

鳥屋野球場・北越高校

1回戦 シード

2回戦 対 第一高校

4-0

3回戦 対 新潟工業

1-0

準決勝 対 北越高校

0-0 (PK 4-3)

決勝 対 新潟西高

0-1 (第2位)

《平成24年新潟県総合体育大会

サッカー大会 5月27日～6

月3日 長岡大手高校・長岡

ニュータウン運動公園・十日

町当間多目的グラウンド

1回戦 シード

2回戦 対 小出高校

3-0

3回戦 対 高田高校

2-0

準々決勝 対 新潟工業

1-2

ベスト8

◎弓道部

《春季新潟下越地区弓道大会

5月2日

・新津地域学園弓道場

・団体女子 第3位

石井 杏・丸山 史織・

藤木 優・小山 志織・

井浦 茉凜・伊丹 悠衣・

遠藤 加菜

《新潟県総合体育大会弓道大会

6月2日～4日

・新津地域学園弓道場

・個人男子 準優勝

雑賀 睦美

北信越大会・インターハイ

出場 (S 54以来32年ぶり)

・個人女子 準優勝

伊丹 悠衣

北信越大会・インターハイ

出場 (2年ぶり)

《平成24年北信越かがやき総体

8月1日～2日

松本市総合体育館弓道場

・個人男子

雑賀 睦美

予選通過 準決勝通過

決勝戦敗退

・個人女子

伊丹 悠衣

予選通過 準決勝敗退

◎テニス部

男子

《春季下越地区テニス大会

4月26日～4月27日 新発田市

五十公野公園テニスコート

・ダブルス

ベスト8 右近・高橋

亀村・皆川

・シングルス

ベスト8 右近 明人

高橋 平

皆川 直

亀村 遼

《新潟県高校総体テニス大会

6月1日～3日 南魚沼市

大原運動公園テニスコート

・団体

2回戦 対 新潟南

1-2

・シングルス

ベスト32 高橋 平

《下越地区高校新進テニス大会

7月28日～29日 新発田市

五十公野公園テニスコート

・シングルス

ベスト16 猪飼 大智

目黒 幹也

・ダブルス

ベスト8 猪飼・目黒

ベスト16 小野・山崎

《春季下越地区テニス大会

4月26日～4月27日 胎内市

国際交流公園テニスコート

・ダブルス

優勝 五十嵐理紗

早川 舞

ベスト4 坂上 楓佳

泉田 舞

・シングルス

優勝 五十嵐理紗

ベスト16 坂上 楓佳

右記の者 県総体出場

《新潟県高校総体テニス大会

6月1日～3日 南魚沼市

大原運動公園テニスコート

団体

2回戦 対 長岡向陵

2-1

3回戦 対 新発田

2-1

準々決勝 対 新潟第一

0-2

・シングルス

ベスト32 五十嵐理紗

ベスト16 五十嵐・早川

坂上・泉田

《第67回国民体育大会テニス競技

新潟県選考大会

6月23日～24日 南魚沼市

大原運動公園テニスコート

ベスト32 坂上 楓佳

1回戦 対 野田可南子

(高田北城)

6-2 勝

2回戦 対 本間 花穂

(長岡)

0-6 負

《下越地区高校新進テニス大会

7月28日～29日 胎内市

国際交流公園テニスコート

・シングルス

第3位 坂上 楓佳

泉田 舞

ベスト16 本田 史佳

ベスト32 小泉 真奈

小出 真緒

・ダブルス

第2位 坂上 楓佳

泉田 舞

◎バドミントン部

《第216回新潟支部バドミントン大会

7月21日～22日 鳥屋野体育館

男子

・シングルス

ベスト16 宮島

・ダブルス

初戦敗退 永木・水野

女子

・シングルス

ベスト16 神丸

初戦敗退 本間

《新潟県高校1・2年生大会

8月19日～20日

五泉市総合会館

男子

・シングルスA級

ベスト32 宮島

2回戦敗退 永木

・ダブルスA級

ベスト32 水野・江部

2回戦敗退 永木・宮島

女子

・シングルスA級

2回戦敗退 神丸

初戦敗退 本間

・ダブルスA級

2回戦敗退 神丸・本間

◎水泳部

《平成24年春季地区水泳競技大会

5月24日

新潟市西海岸市営プール

男子

・1000M背泳ぎ

第3位 米山 統

女子

・400M個人メドレー

第3位 長谷川千紗

・200M平泳ぎ

第3位 長谷川千紗

・200M個人メドレー

第1位 渡辺 愛理

・100M平泳ぎ

第2位 渡辺 愛理

《新潟県総合体育大会

水泳競技大会 6月15日～17日

新潟市西海岸市営プール

女子

・50M自由形

第3位 渡辺 愛理

・200M個人メドレー

第4位 渡辺 愛理

・400M個人メドレー

第6位 長谷川千紗

◎ハンドボール部

《平成24年度春季ハンドボール大会》
4月29～4月30日 新潟明訓高校
4位決定戦 対 巻
30～19
第4位

◎バスケットボール部

《新潟県高校総合体育大会》
バスケットボール大会 5月25日～27日
上越市教育プラザ体育館他

男子

3回戦敗退

◎卓球部

《春季新潟地区卓球大会》
5月5日～6日 新潟市体育館

団体男子 第7位

個人男子 ベスト30

早福 誠・深澤 周平

松原 亮太

個人3名が県総体出場

《新潟県高校総体卓球大会(ダブルス)》
6月2日 亀田総合体育館

早福・深澤 3回戦敗退

松原・星井 1回戦敗退

《新潟県高校総体卓球大会(シングルス)》
6月3日 亀田総合体育館

早福 誠 3回戦敗退

深澤 周平 2回戦敗退

松原 亮太 2回戦敗退

◎少林寺拳法部

《新潟県高校総体少林寺拳法大会》
6月3日 長岡市民体育館

単独演武

優勝 福田 悟

インターハイ出場権獲得

《第39回全国高校少林寺拳法大会》
7月26日～29日長岡市市民体育館

単独演武

第4位 福田 悟

◎ダンス部

《新潟県高校総体》
5月27日 新発田文化会館

優秀賞(2位相当)

《第25回全日本高校・大学》
ダンスフェスティバル

8月8日～11日 神戸文化ホール

入選

【文化部】

◎将棋部

《第21回新潟県高等学校》
文化連盟将棋大会 5月12日
新潟向陽高等学校

個人

ベスト8 渡辺 敦史

◎かるた部(非常設)

《新潟県総合文化祭小倉百人一首》
かるた大会 5月20日 長岡市
高齢者センターけさじろ

出場20人中10位

※全国大会出場権獲得

◎写真部

《新潟県高文連写真専門部》
第16回撮影大会 5月25日～26日
新潟会館・新潟市民プラザ等

特選 清野 千尋

奨励賞 永井 悠

鹿沼 翔悟

◎囲碁部

《新潟県高文連春季囲碁大会》
5月19日～20日 新潟高等学校

女子団体戦

優勝 桑野 有子

橋本 真帆

永塚未知流

※全国高校囲碁選手権大会
(7/23・24東京) 出場権
獲得全国高校総合文化祭(8/8・9富山) 県チーム出場
(永塚)

◎放送部

◎第59回NHK杯

《第59回NHK杯》
全国高校放送コンテスト新潟県大会
6月26日 新潟市音楽文化会館

・アナウンス部門
第1位 高井あすか

第4位 帆刈なみ子

第6位 金子 歩加

・朗読部門
第2位 関根 悠

第6位 関 日菜乃

・ラジオドキュメント部門
第1位 新潟明訓高校

はいけい父上様

テレビドキュメント部門

第2位 新潟明訓高校

コミュニケーションのすすめ

・創作ラジオドラマ部門

第1位

※以上NHK杯全国大会
(7/23)に出場《第59回NHK杯》
全国高校放送コンテスト

7月23日～26日 東京(NHKホール)

・テレビドキュメント部門
コミュニケーションのすすめ

準決勝進出

制作奨励賞受賞

清野小太郎

林 純平

◎吹奏楽部

《新潟県吹奏楽》 8月8日
長岡市立劇場

高等学校Aの部 銀賞

◎書道部

《第17回全日本高校・大学書道展》
優秀賞 八木野創太

8月21日～26日 大阪市
立美術館に展示

全国大会への道

弓道部

全国高校総体に出場して

雑賀睦実

今回、人生で一度しかない貴重な体験をすることができました。試合の前日に友達からもらったメールや、当日先生にかけられた言葉などが、と



全国高校総体 男子個人
決勝進出 雑賀睦実

でも励みになりました。いろいろな方々の支えがあったからこそまで来ることができたのだと、感謝しています。この体験で感じたことや学んだことを、これから先の人生に活かして行きたいと思っています。



全国高校総体 女子個人 準決勝進出 伊丹悠衣

平成24年度全国高等学校総合体育大会 第57回全国高等学校弓道大会
男子個人 出場
(結果) 決勝進出

野 球 部

御礼―通算七勝目を挙げた夏

野球部長 波間 一孝

暑い暑い夏でした。全国的に記録的な猛暑の中、本校野球部にとっても熱い夏となりました。

あわや初戦敗退とご心配をおかけした二回戦はサヨナラ勝ちのスタートでしたが、一戦一戦勢い



スカイブルーのユニホームでナインは堂々入場

ムとしての経験と実績が、力強く選手たちを支えてくれました。まるで自校のグラウンドを駆け回るとく伸び伸びとプレイする選手たちに、緊張による堅さは微塵も感じられません。対戦した県立岐阜商業高校は今春の東海大会（こち



心ひとつに大声援!!

くなりましたが、同窓会の皆様方による物心両面に渡るご支援により、体調を崩す者もなく、素晴らしい大会とすることが出来ました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

「ぎふ清流国体」を最後に、佐藤監督が勇退し、

のにされ敗退してしまいました。が、雷雨による二時間十八分という中断にも集中を切らすことなく、最後まで明訓らしく戦ってくれたと思います。

前回同様、日程的に滞在が長

に乗り、二年ぶり七回目の全国選手権大会に出場することができました。甲子園で、本校はすでに常連校の仲間入りをしています。自身は初出場の選手ばかりですが、先輩たちが築いてきたチー

らの北信越大会に相当します。のチャンピオンで、単なる古豪ではなく文字通りの強豪校でした。しかし、相手に主導権を一度も渡すことのない完勝でした。三回戦の明徳義塾高校戦はワンチャンスをも



伸び伸びとプレーする選手たち

本間監督にバトンタッチとなります。明訓野球部は、これまでの伝統の上に、また新たな歴史を積み重ねて参ります。同窓会の諸先輩方には、これ

までと相変わりませぬ温かいご支援をお願いいたします。ありがとうございます。

放送部

今年の夏も、二つの全国大会に出場しました。

一つは、7月23日から26日に行われたNHK杯全国高校放送コンテストです。朗読部門に2名、アナウンス部門に2名が出場しました。結果は、テレビドキュメント部門で3年10組の清野小太郎君と3年11組の林純平君が作成した「コミュニケーションのすゝめ」が準決勝に進出し制作奨励賞を受賞しました。

もう一つは、8月11日、12日に行われた全国高等学校総合文化祭です。朗読部門に2名、アナウンス部門に2名が出場しました。こちらは全国の都道府県48(開催県は2つ)

を8ブロックに分け、各部門の1位のみに表彰されるもので、厳しい戦いで入賞はなりませんでしたが。

新潟県において放送部はあまりメジャーではなく、全国的に見ると放送部員の数はとても少ないです。全国大会に出場し、他県の声や作品に触れ全国のレベルの高さを部員と共に改めて知りました。常に全国を意識しながら今後の活動に取り組み、全国の上位に入ることを目指し活動を行っています。

全国高等学校総合文化祭

少林寺拳法部
少林寺拳法大会に出場して

僕は7月27日～29日にかけて、長岡市市民体育館で開催された全国高等学校少林寺拳法大会に出場しました。

優勝を目指して練習してきましたが、4位という結果で終わってしま

い、少し悔いは残りましたが、精一杯のことをやれたのでその点は満足できる大会でした。

最後になりましたが、多くの方からご声援を頂き、誠にありがとうございました。

福田 悟



第39回全国高等学校 少林寺拳法大会

全国大会出場部活動

部 活 名	大 会 名	開 催 地	期 間
剣 道 部	平成 24 年度全国高等学校総合体育大会	新潟市東総合スポーツセンター	8月7日～9日
陸 上 競 技 部	平成 24 年度全国高等学校総合体育大会	東北電力ビッグスワンスタジアム	7月29日～8月3日
弓 道 部	平成 24 年度全国高等学校総合体育大会	長野県松本市総合体育館	7月27日～29日
少林寺拳法部	平成 24 年度全国高等学校総合体育大会	長岡市市民体育館	7月27日～29日
放 送 部	第 59 回NHK杯全国放送コンテスト	東京都 NHK ホール他	7月23日～26日
	第 36 回全国高等学校総合文化祭	富山県 富山市	8月11日～12日
写 真 部	第 36 回全国高等学校総合文化祭	富山県 南砺市 福野体育館	8月10日～12日
囲 碁 部	第 36 回全国高等学校総合文化祭	富山県 朝日町	8月8日～9日
	第 36 回全国高等学校囲碁選手権大会	東京都千代田区 日本棋院	7月23日～25日
生 物 部	第 36 回全校高等学校総合文化祭	富山県 入善市	8月10日～12日
百 人 一 首	第 36 回全校高等学校総合文化祭	富山県 黒部市	8月9日～10日



陸上競技部



剣道部



囲碁部



写真部



百人一首



生物部

終身会費納入者御芳名

(敬称略)

平成二十四年八月三十一日現在

平成24年卒
全日制63回

豊田 高高 曾砂 鈴清 清洪 柴佐 佐佐 齊齋 齋小 小葛 川片 乙尾 小遠 枝江 岩井 1組 (46名)
岡中 橋田 根原木 水水 木田 野野 藤藤 藤藤 山杉 見島 桐川 崎小 藤並 川橋 上
伸流 昭和 雄良 弘 朱達 智由 真夏 雄美 壮真 実重 卓由 千晋 璃頭
一晟 博樹 碧郎 木法 大海 里志 智大 夏友 未郎 結介 琴匠 加斗 也佳 晶郎 音大

熊木 神神 上片 小岡 大太 大江 漆石 石阿 朝相 2組 (46名) 渡山 山山 山村 宮丸 松松 松松 松松 増長 長中
木村 田山 山村 岡川 矢田 口島 山田 川部 妻田 邊本 田田 倉木 下山 川井 井井 井井 田部 長谷 川村
美友 佳恵 里麻 奎梨 果奈 駿太 大雄 浩 菜翔 芙絢 誠隆 健美 佑奈 菜 愉賢 美倅
優彦 澄佳 宙樹 尚衣 哉絵 樹林 央郎 玄誠 樹史 緒太 美香 也郎 平太 穂子 歩希 人鈴 輝

伊石 池池 阿安 3組 (44名) 渡山 宮峯 南水 増堀 藤平 長新 中長 豊竹 竹竹 洪三 佐佐 佐佐 佐佐 坂齋 小倉
東月 田田 部達 邊崎 村村 落田 田山 川野 井里 田石 谷五 藤藤 木木 木木 井井 藤泉 島
絢大 翔 颯祐 奏和 結し 智悠 啓育 賢 い健 健高 昂大 悠智 拓佑 和悠
斗圭 樹啓 太峻 太太子 美衣 り茜 恵里 幹郎 佑子 美造 藍み 太兄 史昭 介介 美哉 衣泉 博登

伊伊 石安 秋4組 (43名) 渡渡 吉山 村本 古藤 福林 畑長 長長 長玉 田田 相関 鈴杉 新澁 澁澁 沢佐 笹笹 坂坂 関川 竜小 遠梅 岩伊
藤藤 井仲 山 部邊 田田 竹多 田井 田山 川川 川川 川中 澤馬 口木 山澤 谷川 田藤 川川 井井 東島 嶋柳 藤島 部
春大 とも 諒 隼 克将 美美 将晃 一晃 うあ 翔優 広美 若ち 正 幸健 詠大 直周 宏智 夏拓 拓史 孝健 邦
菜杏 裕え 弥 匠輔 航俊 太紅 砂史 大彦 輝源 らり 太衣 生里 菜ろ 朗亮 宏太 見将 斗作 美裕 帆弥 也哉 良佳 太彦

伊泉 池五 赤5組 (42名) 三益 藤藤 馬長 羽野 野野 野中 土滝 高高 高高 高高 関関 関地 白品 佐佐 齋古 小粉 小小 小小 神唐 乙今 井
藤田 野嵐 塚 木川 卷田 場部 下村 中田野 田澤 橋橋 橋橋 楓岡 矢知 田田 藤藤 藤藤 侯林 林川 出泉 池成 津川 井上
千知 美龍 晋雄 修智 祐昌 広悠 道優 龍泰 礼修 大浩 雄史 啓将 曉慶 佑大 大紗 志緒 翔健 友大一
岳尋 佳桜 也 作麻 廉也 也介 徳連 樹輔 子純 紀矢 介人人 修瞭 太太 弥太 貴奈 介希 祥地 季誠 里遥 太斗 佑地 真

梅魚 伊磯 有荒 6組 (40名) 和吉 山山 山山 山山 藪村 宮水 見尾 本平 羽中 永長 鶴土 田滝 高高 高高 鈴鈴 佐坂 榊坂 齊古 河熊 鎌大 井稲
澤野 藤部 賀木 田岡 本田 崎崎 崎山 島野 田間 山田 野野 尾間 田村 沢橋 橋橋 岡木 木詰 原上 藤侯 野木 田平 上月
拓拓 恭啓 直賢 峻律 凌沙 ミ愛 琢知 智知 ち 菜恒 駿美 千理 智呀 由菜 宏圭 翔夏 ひ 千成
磨真 豪輔 翼汰 翠樹 郎也 航子 兼季 ラ梨 歩朗 輝葵 寛華 子匠 ろ蒼 実登 介織 晴江 仁香 貴央 泰伍 大未 かり 理美

河川 唐金 太江 宇伊 伊7組 (43名) 渡渡 渡若 若龍 吉吉 横山 山宮 皆丸 町本 本星 豊寺 武高 鈴鈴 霜坂 齋小 小神 上梶 小小 漆
村瀬 崎子 田部 野藤 藤 邊辺 邊杉 杉池 川岡 山山 本岸 本川 山永 間田野 島尾 沢橋 橋橋 木鳥 井藤 林島 田谷 山柳 川原
千由 哲 加愛 麻寛 優真 紗達 一雄 諒哲 み雄 穂拓 晋之 勇和 秀佑 真卓 修智 准聡 和夏 偉秀 雄諒 裕大
里華 航也 悠緒 理衣 朗 斗帆 英也 生人 香志 わ翔 高実 介南 悠太 輝輝 貴理 朗悟 之舟 人介 樹輝 成輔 太太 希夢

大大 宇板 池五 荒青 8組 (44名) 渡山 山山 宗三 丸松 松松 増廣 樋樋 中外 田田 種種 武高 高鈴 鈴鈴 洪佐 笹坂 古小 小兒 熊金 神
武泉 美垣 野 井木 華 邊本 川村 井山 本永 門川 山口 山山 山村 村橋 田橋 橋橋 木木 谷藤 川井 侯林 林玉 倉藤 田
絵明 彩祐 まり ゆり 華 吾朗 鮎太 実可 侑桃 斐奈 千崇 貴 万純 里海 満大 浩重 啓正 奈津 佑美 卓舞 紗大
都都 子司 子花 加あ え恒 凛 人人 子慎 憲子 光子 紀子 弘子 尋喜 絵龍 葉佳 実灯 乃毅 史香 太直 希生 子己 美樹 志

大今 今石 石池 阿阿 9組 (46名) 渡和 鷺吉 余人 山森 村宮 三溝 牧平 平長 仁中 長辻 茅田 高高 清鈴 新佐 捧坂 坂小小 熊鎌
久保 井井 山本 田部 彦 邊田 尾田 湖幡 田橋 井澤 富井 野野 井川 木原 橋川 原谷 橋波 田木 保藤 井井 林林 倉田
佑和 史健 笑京 菜 孝千 健美 拓拓 健智 仲太 鷹真 健朋 理沙 実未 ちひ 晃涼 剛香 俊雄 菜朋 ゆ裕 麓弘 圭永
香陸 貴奈 太里 香穂 彬織 卓新一 緒実 基哉 吾大 朗秋 生大 香子 咲希 ろ江 一香 大里 介也 子美 き佳 奈幸 亮遠

今泉 石磴 石10組 (25名) 渡渡 米吉 吉山 八村 村村 松本 堀平 樋羽 長波 中長 外外 田玉 竹高 須清 清佐 佐佐 近桑 川小小
井田 本井 井 邊邊 田弘 川下 澤山 松上 井間 山浦 田川 塚本 井山 山村 木田 橋貝 水水 藤藤 藤藤 野谷 柳原 野
宗星 竜ひ かる 萌々 颯祐 智智 昂真 伶葉 拓駿 沙莉 有千 文香 実拓 郁雄 健奏 里芽 光惠
史翼 香朗 凛子 介也 子香 隆隼 国捺 子匡 月遙 優樹 誠平 子央 孝剛 葵裕 香子 花哉 弥亮 人恵 潤惟 岬衣 弘也

同窓会ホームページと交流掲示板

同窓会ではホームページを開設しています。同窓会総会のお知らせなどはホームページでお知らせ致します。ぜひ一度、同窓会ホームページをご覧ください。

また、ホームページ内に「交流掲示板」を開設しましたので、このサイトは明訓同窓生の部活、OB、OGの活動情報や同期会情報など自由な情報交換の場としてご利用下さい。

<http://niigata-meikun-dousoukai.com/index.html>

小 小 小 岸 神 桂 大 薄
山 俣 出 本 田 山 木 田
瑳 悠 健 大 侑 美 健
織 子 郎 輝 紀 波 郎 晋
高 高 曾 清 鈴 佐 佐 斎
橋 木 我 田 木 藤 藤 藤
英 慎 凌 大 透 大 秀
知 平 輔 樹 也 空 人 翼
保 日 島 西 中 内 土 武
苺 野 山 村 藤 田 田
洋 一 元 垂 友 健 京 雅
生 貴 太 紀 香 人 太 人

平成二十三年度

会費納入状況

◎入会金

全日制63回生 467名

四六七、〇〇〇円

◎終身会費

全日制63回生 467名

二、三三五、〇〇〇円

◎合計

二、八〇二、〇〇〇円

小 大 内 阿 阿 浅 浅 11組
熊 野 山 部 部 野 井 (37名)
渚 雄 佑 瑞 友 理
音 萌 郎 己 輝 紀 央
田 田 田 高 瀬 砂 杉 佐 佐 佐 齋 小 川 狩 甲 落
邊 邊 中 橋 野 原 本 藤 藤 間 藤 暮 口 谷 斐 合
侑 暉 菜 雄 雅 大 文 大 洋 純 結 岳 森 之 介
大 魁 大 美 駿 啓 基 人 夢 平 輝 貴 平 希 大
渡 若 山 山 山 水 松 真 本 古 原 馬 長 土
辺 井 田 下 崎 戸 田 島 間 屋 場 谷 川 田
あ 夏 真 哲 健 盛 葉 瑞 優 貴
か 輝 子 太 仁 歩 郎 諒 月 季 笑 人 優 也

会務報告

一、会 議

(一) 総 会

平成23・10・22(土) 16:00

於 ホテルイタリヤ軒

・アトラクション 17:00

「明訓高校ダンス部による演技」

・懇親会 17:30

(二) 常任委員会

平成24・6・23(土) 18:30

於 ホテルイタリヤ軒

・常任委員会改革・拡大委員会からの報告

・平成24年度 総会開催について

平成24・7・30(月) 18:30

於 ホテルイタリヤ軒

・臨時常任委員会・野球部甲子園出場の募金活動について

平成24・9・20(木) 18:30

於 ホテルイタリヤ軒

・常任委員会改革・拡大委員会からの報告

・平成24年度 総会開催について

協議

(三) 副会長会議

平成23・10・18(火) 18:30

於 新潟会館

・平成23年度 総会開催運営について協議

平成23・12・7(水) 18:30

於 新潟会館

・総会運営についての反省会

・首都圏・関西新潟明訓会総会開催の報告

平成24・2・17(金) 18:00

於 ANAクラウンプラザホテル新潟

・同窓会歓迎会及び卒業式について協議

・新年懇談会(学校の管理者及び同窓会担当教職員の方々を招いて)

平成24・6・6(水) 18:30

於 新潟会館

・常任委員会・総会開催について協議

平成24・9・5(水) 18:30

於 新潟会館

・常任委員会・総会開催について協議

二、その他

平成23・10・1(土) 12:30

於 太閤園

・関西新潟明訓会設立20周年総会・懇親会が開催される

・本部より渡辺会長、大倉副会長、首都圏新潟明訓会より秋葉会長が出席、学校より野本学校長の出席をいただく

平成23・11・12(土) 14:00

於 東海大学校友会館

・首都圏新潟明訓会総会・懇親会が開催される

・本部より林・渡邊(淳)両副会長、関西新潟明訓会より本間会長が出席、学校より伴理事長の出席をいただく